

不正防止態勢高度化のための外部評価 および内部監査態勢の高度化支援サービス

米国のサブプライム問題に端を発した金融危機以降、経済社会の不透明・不安定への懸念が高まる中、地域社会や顧客からの信託を第一とする金融機関にとって、不正防止に関する態勢、すなわち「未然防止態勢」「早期発見態勢」の高度化は、最も重要な経営課題のひとつと考えられます。

金融機関の不正の状況

- ・ 不正防止の施策を講じているが、実態上、不正が減少していない。
- ・ 不正の早期発見と未然防止に向けた「内部統制」が整備・運用されていない。
- ・ 内部監査部門が「内部統制を評価する」役割を果たす態勢になっておらず、不正防止のための牽制機能の適切性を評価し、牽制機能の高度化の促進や不正の早期発見に繋がる監査になっていない。

〈金融機関のニーズ〉

不正防止の内部統制の実効性を高めたい。

さらに「内部統制の評価機能」発揮のため内部監査機能を強化したい。

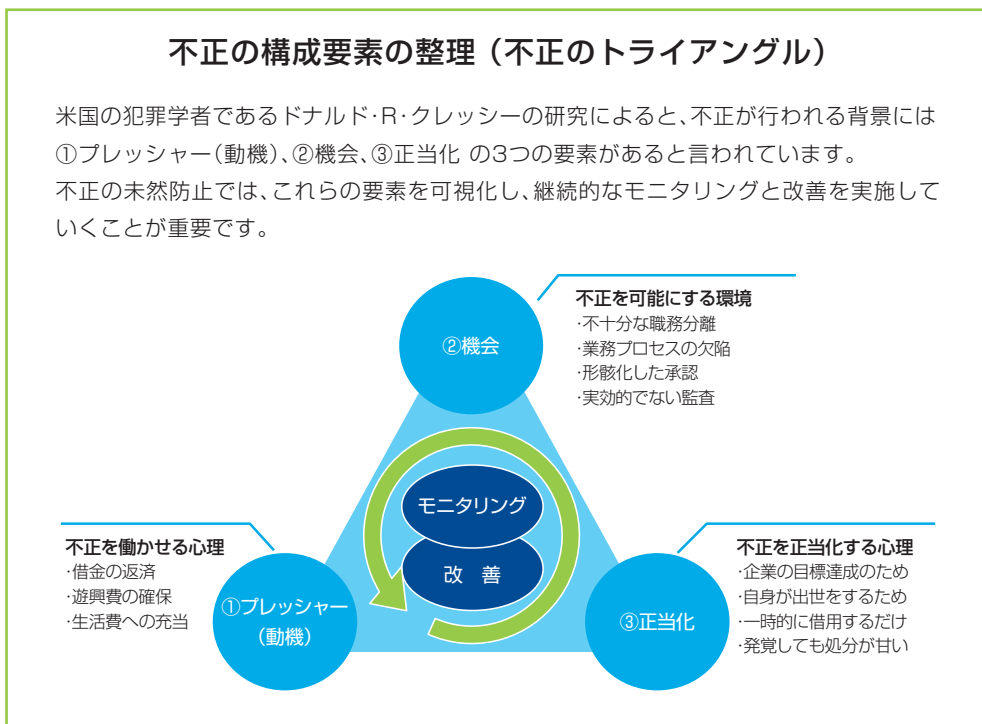
トーマツのサービス

トーマツでは、金融機関の不正防止態勢および内部監査態勢の高度化に寄与するために、豊富な経験を有する専門家が高品質なサービスを提供します。

- ▶ 現状の不正に係るリスクの管理態勢について、トーマツが第三者の立場から調査を実施し、管理水準(内部統制の実効性)を高めるための課題を抽出します。主要な課題および所見または改善案をまとめて「調査報告書」を提出します。
- ▶ リスクアプローチによる内部監査機能強化の観点から、不正防止に関する内部監査態勢の高度化へ向けた課題を抽出します。主要な課題および所見または改善案をまとめて「調査報告書」を提出します。
- * 上記の「調査報告書」の提出後、必要に応じ、不正防止の内部統制の高度化、内部監査態勢の高度化のためのアドバイスを実施し、また不正の発見や内部統制の評価を適切に行うための内部監査研修を実施します。

トーマツ(第三者)によるコンサルティング導入のメリット

- ▶ 不正に係るリスクへの対応は、組織的な対応、すなわち本部各部による横断的な連携が不可欠です。全社的な管理のフレームワークの整備や改善を行うためには、各部の利害関係に捉われない独立した立場からのアドバイスが不可欠と考えられます。多くの金融機関における実態や管理水準に精通したトーマツの専門家による客観的なアドバイスは、効率的な態勢整備に極めて有益です。
- ▶ 不正の未然防止の態勢や早期発見の態勢が機能して、内部統制の更なる高度化への自律的なPDCAサイクルを持続させるためには、リスクアプローチの内部監査、即ち、不正の未然防止に有効な牽制機能やモニタリング機能の実効性(整備および運用面)に軸足を置き「リスク／コントロール」の関係に着目して「内部統制を評価するための内部監査」を強化・高度化することは重要な経営課題のひとつです。トーマツは、クライアントのニーズと現状を的確に把握し、課題解決まで適切にサポートします。



お問い合わせ

有限責任監査法人トーマツ 金融インダストリーグループ/FSI

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル

Tel : 03-6213-1162, 1163 Fax : 03-6213-1186

トーマツグループはデロイト トウシュ トーマツ(スイスの法令に基づく連合組織体)における日本のメンバーファーム各社(有限責任監査法人トーマツと税理士法人トーマツ、およびそれぞれの関係会社)の総称です。トーマツグループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各社がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、コンサルティング、ファイナンシャル アドバイザリーサービス等を提供しております。また、国内約40都市に約6,700名の専門家(公認会計士、税理士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はトーマツグループWebサイト(www.tohatsu.com)をご覧ください。

Deloitte(デロイト)とは、スイスの法令に基づく連合組織体のデロイト トウシュ トーマツおよび相互に独立した個別的法的存在であるネットワーク組織のうちのメンバーファームのひとつあるいは複数指します。デロイト トウシュ トーマツとメンバーファームの法的な構成についての詳細はwww.tohatsu.com/deloitte/をご覧ください。